

平成 16 年 10 月 29 日

第 19 回学術及び総合情報処理センター長会議への要望

鳥取大学総合メディア基盤センター長
山岸 正明

第 16 回学術及び総合情報処理センター研究交流・連絡会議は、平成 16 年 9 月 16 日（木）に全国 42 大学から 69 名が参加し、各センターへの事前アンケート及びその集計に基づいて、センター運営における諸問題について活発に討論、意見交換を行った。

その結果、以下の項目について表記センター長会議に対して要望することで採択したので、御善処頂ければ幸いです。

1. 「センター専任教員の個人評価について」

センターの専任教員は、任期制の採用とともに、業務内容が研究主体から支援業務が主体となっており、評価基準の作成に困難を極めている。任期後終了後に再任も可能であるが、他のセンターに異動することも考えると、センター間で共通した評価基準の作成が望ましいと考えられる。センター長会議で検討していただきたい。

2. 名称の変更について

現在使われている「第・・回学術及び総合情報処理センター研究交流・連絡会議 及び 第・・回学術情報処理研究集会」の名称の内、アンダーラインの総合情報処理センター を変更する必要があるのではないか。センター長会議の名称と関係するので、検討して頂きたい。

各大学が独立法人化にともなって、総合情報処理センター を拡充改組し、総合メディア基盤センター、学術情報メディアセンター、学術情報基盤センターなどと名称が変更になった総合情報処理センターが多い。改組拡充した名称をも包含したものに変更する必要がある。また、本研究交流・連絡会議と研究集会は意義あるもので、今後続けてゆくことが望まれるという意見が多かったことを申し添えます。